

環境活動レポート

(対象期間:平成23年3月～24年5月)

中野土建株式会社

発行日:平成24年 7月10日

1. 事業活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

中野土建株式会社

代表取締役社長 蔵谷 伸一

(2) 所在地

本 社 長野県中野市西2丁目5番11号

長野支店 長野県長野市大字栗田字北河原1038-8

飯山支店 長野県飯山市大字下木島182

山ノ内支店 長野県下高井郡山ノ内町大字平穩字川原4106

飯綱営業所 長野県上水内郡飯綱町大字普光寺字舟久保500-1

機材センター 長野県中野市吉田1135-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者:総務部長 中澤 敏二

担 当 者 :総務部 関 藤夫

連絡先 電話:0269 - 22 - 3175 ファックス:0269 - 22 - 7855

(4) 事業内容

ア 総合建設業 土木・建築・舗装・水道施設・大工・とび土工・管・鋼構造物
等の各種事業

イ 宅地建物取引業

(5) 産業廃棄物収集運搬業許可

ア 許可証の交付者

長野県知事 村井 仁

イ 許可の更新の状況

平成17年1月18日新規許可

平成22年1月18日更新許可

ウ 事業の範囲(収集運搬(積替保管を除く。)する産業廃棄物)

紙くず、木くず、繊維くず、がれき類(以上いずれも、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)、汚泥、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(以上いずれも、特別管理産業廃棄物であるものを除く。)

エ 運搬車両

小型貨物ダンプ 5台、普通貨物キャブオーバー 2台、小型貨物キャブオーバー 1台
普通特殊清掃車 1台 (いずれも当社の所有車)

オ 運用期間中の処理実績

なし

(6) 事業の規模

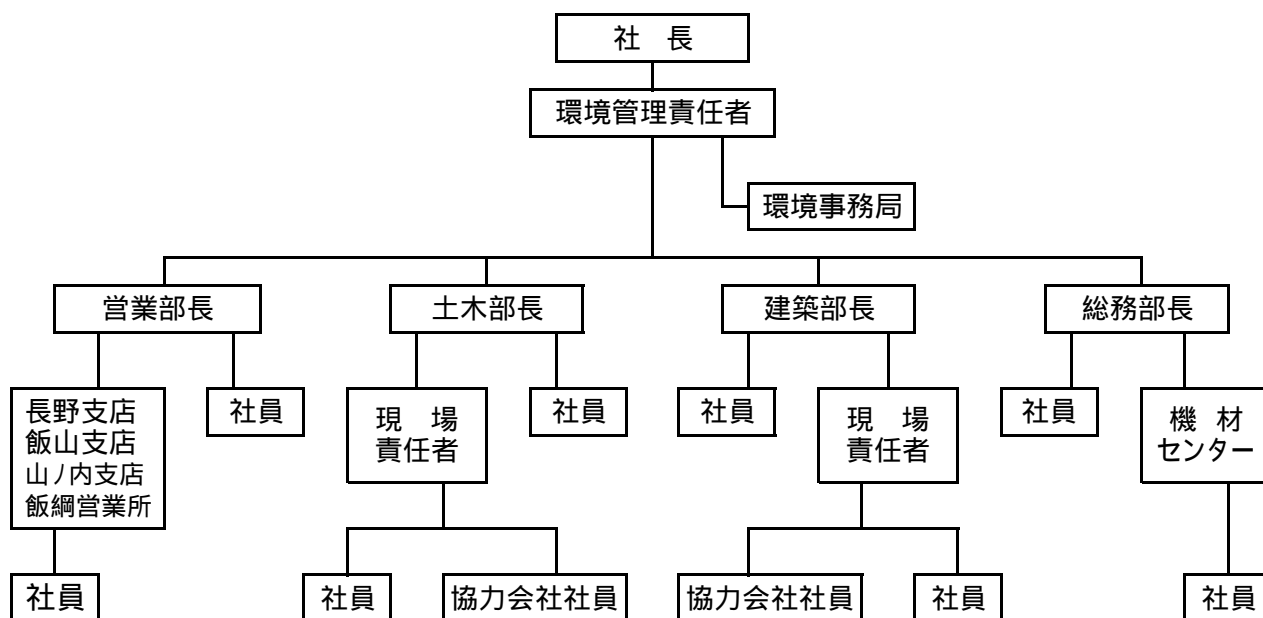
完成工事高

24億円/年(64期=平成22年6月~23年5月)

延べ床面積

1,760.17m²(本社)

(7) 実施体制図



2. 対象範囲 (認証・登録範囲)

(1) 組織

| | |
|--------|--------------------------|
| 本社 | 長野県中野市西2丁目5番11号 |
| 長野支店 | 長野県長野市大字栗田字北河原1038-8 |
| 飯山支店 | 長野県飯山市大字下木島182 |
| 山ノ内支店 | 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏字川原4106 |
| 飯綱営業所 | 長野県上水内郡飯綱町大字普光寺字舟久保500-1 |
| 機材センター | 長野県中野市吉田1135-1 |

(2) 活動

総合建設業及び宅地建物取引業

3. 環境方針

環 境 方 針

人類が生活しているこの美しい星”地球”の環境を守るため、誠実なる施工の理念を掲げた事業活動を通じて、社員一同が力を合せて環境への取組を進めます。

1. 建設事業活動に関わる環境関連の法規等を遵守し、環境保全に努めます。
2. 事業活動の中で、省資源・省エネルギーを進め、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. リサイクルを促進し、廃棄物の削減に努めます。
4. グリーン購入を進めるとともに、環境負荷の少ない設計施工に努めます。
5. この環境方針を全社員に周知するとともに、一般にも公開し、この取組の維持に努めます。

平成22年12月10日改訂

中野土建株式会社

代表取締役社長 藏谷 伸一

4. 主な環境負荷の実績

| 項目 | 単位 | 21年度 (63期=基準年) | 22年度 (64期) |
|-----------------|--------------------------|-------------------|---------------|
| 二酸化炭素排出量 | kg - CO ₂ / 年 | 423,879 | 529,961 |
| 電力(事業所、現場) | kwh / 年 | 181,656 | 237,863 |
| 灯油(事業所、現場) | /年 | 43,865 | 31,424 |
| ガソリン(事業所、現場) | /年 | 48,227 | 53,267 |
| 軽油(事業所、現場) | /年 | 44,253 | 82,012 |
| LPG(事業所) | m ³ / 年 | 363 | 321 |
| 廃棄物排出量 | | | |
| 一般廃棄物(事業所) | トン / 年 | 10 | 7 |
| 産業廃棄物(現場) | トン / 年 | 7,373 | 4,757 |
| 総排水量(事業所、現場) | m ³ / 年 | 1,168 | 984 |
| 化学物質使用量 | kg / 年 | 539 | 1,848 |
| 事務用品グリーン購入(事業所) | 購入費当りのEcoフレンドリー商品購入費(%) | | |
| 地域活動(事業所) | 社会貢献活動の回数 | | |

注: 事業年度 = 6月 ~ 5月

二酸化炭素排出係数:
(購入電力)
0.47kg - CO₂/kwh

注: 二酸化炭素排出量は事業所及び建設現場等の合計で示しています。

: 22年度の欄の数値は、平成22年6月から平成23年2月までの実績数量を示しています。

5. 環境目標とその実績

事業所と建設現場の活動

| 項目 | 単位 | 21年度 (基準年) (63期) | 22年度 | | 23年度 | | 24年度 目標 (66期) | 25年度 目標 (67期) |
|------------|--------------------------|------------------------|------------------|---------|-------------|---------|---------------------|---------------------|
| | | | 3月~5月(64期) 目標 | 実績 | (65期) 目標 | 実績 | | |
| 二酸化炭素排出量 | kg - CO ₂ / 年 | 423,879 | 97,094 | 167,564 | 411,934 | 530,863 | 501,825 | 496,581 |
| 電力 | kwh / 年 | 181,656 | 36,528 | 70,646 | 178,023 | 209,163 | 176,206 | 174,390 |
| 灯油 | /年 | 43,865 | 13,960 | 9,694 | 42,988 | 31,226 | 42,549 | 42,110 |
| ガソリン | /年 | 48,227 | 7,499 | 8,193 | 46,298 | 35,460 | 45,816 | 45,333 |
| 軽油 | /年 | 44,253 | 10,357 | 34,583 | 42,483 | 102,910 | 77,911 | 77,091 |
| LPG | m ³ / 年 | 363 | 88 | 68 | 348 | 378 | 345 | 341 |
| 一般廃棄物 | トン / 年 | 10 | 2 | 2 | 10 | 5 | 10 | 9 |
| 産業廃棄物 | トン / 年 | 7,373 | 1,260 | 2,584 | 7,078 | 5,189 | 7,005 | 6,931 |
| 総排水量 | m ³ / 年 | 1,168 | 212 | 212 | 1,121 | 1,087 | 1,109 | 1,098 |
| 化学物質使用量 | kg / 年 | 539 | 68 | 43 | 517 | 836 | 512 | 506 |
| 事務用品グリーン購入 | 購入費当りのEcoフレンドリー商品購入費(%) | | | | 実態調査 | | 目標設定 | |
| 地域活動 | 社会貢献活動の回数 | | | | 目標設定 | | 目標設定 | |

注: 二酸化炭素排出量は事業所及び建設現場等の合計で示しています。

・グリーン購入は、当面事務用品を対象に行い、将来的には事業活動に使用する材料・部品や作業に使用する設
工具についても環境配慮品の採用を模索して行きます。

6. 主要な環境活動計画の内容

| 取 組 項 目 | | 活 動 計 画 の 内 容 |
|----------------|------------|---|
| 二酸化炭素排出量削減 | 電力使用量削減 | <ul style="list-style-type: none"> ・昼休み・使用していない部屋の消灯の徹底 ・空調温度の適正化 事務所:冷房 28、暖房 20 ・複層ガラスによる断熱性能の向上 ・工事現場における作業方法の見直し |
| | 軽油使用量削減 | <ul style="list-style-type: none"> ・燃費のよい車の導入(更新時) ・アイドリングストップの励行 ・急加速・急停車をなくす(エコドライブ) ・遠距離現場への相乗りの推進 ・現場への効率的な資材配送 |
| | 灯油使用量削減 | <ul style="list-style-type: none"> ・暖房による室温の適正な管理(暖房温度20) ・ブラインドやカーテン利用による熱の出入り調節 ・冬季における重ね着等服装の工夫による暖房費の抑制 ・工法や作業方法の見直でエネルギーの効率的利用 |
| 廃棄物排出量削減 | 産業廃棄物排出量削減 | <ul style="list-style-type: none"> ・再利用・リサイクルしやすい製品の購入 ・ごみの分別回収ボックスの適正設置 ・工事施行による建設副産物等のリサイクル促進 ・マニフェストを基に産業廃棄物の適正な処理 |
| | 一般廃棄物排出量削減 | <ul style="list-style-type: none"> ・分別の徹底によるごみの減量 ・梱包材等のリサイクル促進 ・両面印刷、集約印刷等による紙使用量の削減 ・社内LAN、データベース活用によるペーパーレス化 ・使用済封筒、使用済用紙の再利用 |
| 総排水量削減 | | <ul style="list-style-type: none"> ・啓蒙活動による節水意識の高揚 ・洗車の回数を減らし、洗車時における節水を励行 ・工事現場における水の適正使用 |
| 化学物質の使用量の制限 | | <ul style="list-style-type: none"> ・接着剤、防水材等の適正量使用 ・有害性化学物質使用の表示の徹底 ・有害化学物質の種類、含有量等の把握 ・屋外での除草剤、殺虫剤の使用制限 |
| 事務用品のグリーン購入の推進 | | <ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入対象品目(エコマーク商品)の調査 ・グリーン購入比率調査 |
| 製品・サービスへの環境配慮 | | <ul style="list-style-type: none"> ・建設現場周辺の自然との調和を指向する ・環境にやさしい施工や工法を採用する ・帰り荷や複数現場への共積み、乗合の励行 |
| 地域活動 | | <ul style="list-style-type: none"> ・草取り、清掃などの社会貢献活動 |

7. 環境活動の取組結果の評価

(1) 取組結果と評価

| 取組項目 | 23年度目標 (65期) | 現在までの取組結果 (23年6月～24年5月) | 評価と今後の課題 |
|-----------------|------------------|---|--|
| 二酸化炭素排出量削減 | 基準年度比 3.3% 削減 | 実績 / 目標 = 528,514 / 409,772 kg-CO ₂ | 電力使用量と軽油の使用量の増により目標を達成できなかったため環境活動の取組みを深める。 |
| 電力使用量削減 | 基準年度比 2% 削減 | 実績 / 目標 = 209,163 / 178,023 (kwh) | 下半期では土木・建築ともに工事の施工量が増加し、目標を達成できなかった。 |
| 灯油使用量削減 | 基準年度比 2% 削減 | 実績 / 目標 = 31.226 / 42.988 (k) | 未達成の月もあったが、節減により65期全体では目標を達成した。 |
| ガソリン使用量削減 | 基準年度比 4% 削減 | 実績 / 目標 = 35.460 / 46.298 (k) | 遠隔地の現場が減少したことから12月、4月、5月を除いて目標を達成した。(65期は目標達成) |
| 軽油使用量削減 | 基準年度比 4% 削減 | 実績 / 目標 = 102.910 / 42.483 (k) | 重機を使用する土木工事の増加と、豪雪による除雪作業の激増により目標を達成できなかった。除雪燃料は基準年と比較し1万2千以上増加したため、66期の目標見直しの検討を行う。 |
| 廃棄物排出量 | | | |
| 一般廃棄物 | 基準年度比 4% 削減 | 実績 / 目標 = 5 / 10(トン) | 今期は一般廃棄物の排出量が少なかった。今後の企業活動の状況により削減目標の検討を行う。 |
| 産業廃棄物 | 基準年度比 4% 削減 | 実績 / 目標 = 5,189 / 7,078(トン) | 今期は廃棄物の発生する工事が少なかった。今後の受注状況を予測し目標数量を検討する。 |
| 総排水量 | 基準年度比 4% 削減 | 実績 / 目標 = 1,087 / 1,121(m ³) | 本社等の水使用量は一般の家庭並み。今期は水を使用する工事が少なかったため目標を達成した。 |
| 化学物質使用量削減 | 基準年度比 4% 削減 | 実績 / 目標 = 836 / 517 (kg) | 大規模の屋根の塗装工事と接着剤を多く使用する工事が2件あり目標が達成できなかった。 |
| 事務用品グリーン購入 | エコマーク対象品目調査 | 調査中 | 23年度から実態調査を行っている。 |
| 地域活動 | | | |
| 草取り、清掃などの社会貢献活動 | 社会貢献活動の具体的内容精査 | 検討中 | 23年度から目標について検討している。 |

(2) システム運用から65期移行までの期間中(23年3月から23年5月まで)の取組結果と評価

当社のエコアクションの取組みの中で、前回の環境レポートと当社の事業年度である65期までの間の取組みについては、電力、ガソリン、軽油及び水の使用量と産業廃棄物の排出量は目標を達成するがでなく、灯油及び化学物質の使用量と一般廃棄物の排出量は目標を達成しました。それぞれの取組み項目については、今後適切な活動を行うこととしています。

(3) 次年度の取組内容

平成24年度(66期)においては、対前年度比の削減目標をすべての項目において1%とします。また、事務用品グリーン購入の実態調査と地域活動の目標設定を行う予定です。

8. 代表者の評価

1年間行動計画を進めてきたが、目標未達成の項目が多い。66期目標達成に向けて活動を継続してほしい。

環境経営システムの運用を始めて間もないこともあり、従業員の理解にバラツキが見られる。従業員への教育・訓練の内容・頻度を見直すと共に、全員参加で活動を進めるための仕組みを考え、実施してほしい。

9. 環境関連法規制の遵守状況

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

| 法規制等の名称 | 該当する活動 | 遵守状況 |
|--------------------------------------|--|------|
| 廃棄物処理法 | 一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分の委託、管理票運用、管理票交付状況報告 | 遵守 |
| 資源有効利用促進法 | 指定再資源化製品の自主回収・再資源化に協力 | 遵守 |
| 建設リサイクル法 | 対象工事における届出書面作成、発注者へ交付 | 遵守 |
| 浄化槽法 | 浄化槽工事業の登録と浄化槽設備士の設置 浄化槽設置(構造/規模変更時)届出と維持管理 | 遵守 |
| 騒音規制法・振動規制法 | 指定地域内における特定建設作業の届出 | 遵守 |
| 排ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程 | 発注者への報告と対策型ステッカー貼付の建設機械使用(公共工事の場合) | 遵守 |
| 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程 | 発注者への報告と対策型ステッカー貼付の建設機械使用(公共工事の場合) | 遵守 |
| 道路交通法 | 対象工事・作業実施時における道路使用許可申請 | 遵守 |
| 道路法 | 継続して道路を使用する場合、道路管理者への道路占用の許可申請 | 遵守 |
| 道路運送車両法 | 自動車の定期点検整備と点検整備記録簿の備付 | 遵守 |
| 消防法 | 防火管理者の選任と消防計画等の策定 貯蔵所、取扱所等の設置又は変更時の市町村長への許可申請 少量危険物の貯蔵と取扱、届出 | 遵守 |
| 中野市環境保全及び公害防止に関する条例(平成17年中野市条例第115号) | 排水処理浄化槽設置と工事着手前の届出 保全区域内での建築物の新築増築、宅地の造成、土石の採取前の届出 | 遵守 |

(2) 違反、訴訟等

当社の企業活動に伴い適用される環境関連法規は上記(1)のとおりです。環境管理責任者中澤敏二が中心となり法規の遵守状況についてチェックを行い、現在及び過去3年間問題のないことを確認しました。

また、同様に関係機関及び近隣住民からの指摘、苦情、訴訟などは一件もありませんでした。